学習内容報告書 フォーマット

学校名	福島県　只見中学校
授業者	池上禎一

1.　単元計画

1-1.　単元名

海洋の環境を知り、考え、行動する

1-2.　学年

２学年

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間　理科　社会

1-4.　単元の概要

１.海洋プラゴミの実態を探る

昨今海洋プラゴミの問題が取り上げられており、その量は全世界で年間８００万トンにも及ぶ。様々な団体が海ゴミの増大や、海洋汚染の問題について声を上げている。山あいの地域に生活する私たちは、実際の海浜の様子を知らない。昨年度も同じ理由で、海浜の様子を実際に見て体験するために、ごみ拾いを計画した。この活動により上流に住む自分たちの行動が変えられ、考え行動できるきっかけを与えたい。また、SDGｓの 14 とその他の項目を共通課題として、他の項目も学びどう解決に結びつけるかなどを考え、発表させたい。今年度はより系統的に学ばせることにより、より良い学びに繋がると確信している。

1-5.　単元設定の理由・ねらい

課題の解決を通して世界に目を向け、俯瞰的に物事を捉えられるようにする。地域の特性から海洋の視点を持ちにくいが、地域から活動発信していくことで生徒の視野を広げていきたい。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

海洋の問題を通して、問題意識を持ち課題の解決に必要な知識及び技能を身につけさせたい。探求的な学習の中で、主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を育みたい。

1-7.　単元の展開（全７時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	・海ゴミについて知ろう ・海ゴミの予想を立てる	図書室の資料や、インターネットから海浜のごみについて学ぶ。その多くがプラスチックであることも、大まかに捉えさせる。 ・プラゴミの中でどんなゴミが多いかなどに注目させる。
2 3	・海浜で実際に拾ってみる	・上越市の職員の方に海ゴミのレクチャーをいただきながら、海浜のごみ拾いを行う。
4 5	・海ゴミの実態をまとめる	・学校に帰ってきてから、壁新聞形式にレポートをまとめた。日本のゴミはもとより、外国のゴミが多いことに驚く。プラボトルや、プラレジ袋の処分の仕方を考えるきっかけとなった。
6 7	・文化祭で発表をする	・SDGｓ14 を共通課題として、他のターゲットについてもまとめ、発表を行う。現在の問題点や、自分たちに何ができるかなど、改善についても学び発表することができた。

2.　学習活動の実際

2-1.　単元における位置づけ

単元　7　時間中の　6．7　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/ 単元 15 時間中の 4,5 時間目

2-2.　本時の目標

現在の海洋の様子を伝え、世界の問題点について発表する。

2-3.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
○前時までにまとめた内容を発表する	・共通の課題として SDGs14 について考えを持たせ、自ら選択した他の項目について発表させる。
○3 人～5 人程度のグループで発表をする 	・A グループ…SDG s 5.7.14（以下グループと SDG s と 14 を省略）・B…3.10　・C…1.16　・D…6.8　省略　・K…4.17 ※グループの持ち時間は 5 分程度とする
○壁新聞を二年生のスペースに掲示する	・自分たち以外のグループについても考えや意見が言えるように、学びを深めさせる。

3.　今回の活動の自己評価

昨年度に引き続き海浜のゴミ拾いを行った。これは山あいに生活している子どもたちにとって事実を自分の目で確認できる良い方法で、大変効果が高いものだったため今年度も行った。百聞一見にしかずであり、先輩方の行動が変わったことも十分理解できた。そして、自らの行動を変化させられたのは非常に効果があった。上流に住む自分たちが細心の注意を払う必要があることも学ぶことができた。遠く離れた内陸から海を思うことにより、広い視野を持たせることができた。学校で SDGｓについて学ぶ機会も設けたため、海洋に限らず広い視野で物事を捉えられるようになった。他のターゲットについて学んだ結果、俯瞰的に物事を捉え、身近なところから行動できることを知り教育的効果もより高いものとなった。

4.　今後の課題

実際の様子を観察できたことは非常に有効的だったが、今後継続的に観察する手段が難しいことが課題である。自分たちの行動を変えたり、発信することでどのように海浜が変わっていったかという変化が見えにくい。元来、只見町を流れる伊南川は日本海に注ぐ。そういった意味ではフィールドを代えるなど、何らかの方法で『見える化』していかないと、モチベートの維持には繋がらない。指導者としての課題はここにあると考える。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20㎜、左右端 16㎜

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。